



2025 年 11 月 7 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 JMS
 代 表 者 名 代表取締役社長 桂 龍司
 (コード番号 7702 東証スタンダード市場)
 問 合 せ 先 執行役員コーポレート本部長 落合 芳紀
 TEL 082-243-5844

2026 年 3 月期中間連結会計期間における業績予想と実績との差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 5 月 9 日に公表しました 2026 年 3 月期中間連結会計期間の業績予想と本日公表の実績に、下記のとおりの差異が生じたのでお知らせします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2026 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおりに修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2026年3月期中間連結会計期間業績予想と実績との差異

(2025年4月1日～2025年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	33,800	350	300	100	4円08銭
今 回 実 績 (B)	32,216	△19	△46	△190	△7円78銭
増減額 (B－A)	△1,583	△369	△346	△290	
増減率 (%)	△4.7	－	－	－	
(ご参考) 前期中間期実績 (2025年3月期中間期)	33,830	155	△118	△258	△10円56銭

2. 2026年3月期通期連結業績予想の修正

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	68,000	900	600	200	8円16銭
今回修正予想 (B)	66,000	500	300	100	4円08銭
増減額 (B－A)	△2,000	△400	△300	△100	
増減率 (%)	△2.9	△44.4	△50.0	△50.0	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	69,749	872	514	89	3円65銭

3. 差異及び修正の理由

2026年3月期中間連結会計期間の売上高は、国内の薬剤調製・投与クローズドシステムや摂食嚥下関連用品は順調に推移しましたが、海外主要顧客の在庫調整に伴う成分献血用回路や血液バッグの受注減少の影響もあり、前回予想を下回りました。

また、利益面では、物価高騰に伴う価格転嫁や不採算品目の整理など、収益改善に向けた取り組みを進めましたが、受注減少による海外生産拠点の稼働率低下の影響もあり、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益はいずれにおいても、前回予想を下回ることとなりました。

2026年3月期の通期連結業績予想については、国内外での販売拡大や価格見直し、製造原価低減、効率的な事業活動による経費低減など、収益改善策を引き続き進める一方で、中間連結会計期間の実績と原材料価格の高止まりなども踏まえ、前回公表値を修正しました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上